

三重国体向け1000万円

・協賛金贈呈式



伊藤製作所(四日市市)が贈呈

「県内から良い選手出て」

伊藤製作所(本社・四日市)は三日、来年の三重とこわか大会(全国障害者スポーツ大会)に向けて、県などに寄付金と協賛金計一千万円を贈った。

内訳は伊藤社長から県へ寄付金五百万円、同社から両大会実行委員会へ協賛金五百万円。同社は

五百万円以上を協賛した企業に与えられる「オフィシャルスポンサー」となり、国体のロゴを使用できる。

県庁で開かれた贈呈式で、伊藤社長は「社内ですべてを重視している。県内から良い選手にどんどん出てもらい、

全国に名を売ってほしい」と述べ、両大会実行委の会長を務める鈴木英敬知事に目録を手渡し

鈴木知事(右)に目録を手渡す伊藤社長(左)県庁で

た。

鈴木知事は「新型コロナウイルス感染症の影響で経済が厳しい中、寄付をいただき、うれしく思う。三重とこわか国体を予定通りの会期で実施できるように準備を進めている」と話し、感謝状を贈った。

県などは選手の強化費や広報活動費に活用するため、寄付と協賛を募っている。目標は五億円。今回を含めると、六十五団体・個人から計二億八千三百万円が寄せられた。

(水野志保)